

第67回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JB004CE	中学	生物	奈良県
学校名	奈良教育大学附属中学校		
研究作品タイトル	コケの生育調査と本校の環境		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	西尾 百萌子		
指導教諭氏名	高見澤 聡		

【動機】

私は、中学生になり、コケの持つ繊細な美しさと力強い生命力を知り、とても惹かれた。これまで気にしてこなかった道端に、美しい世界があることを発見して驚いた。そこで、所属校にいるコケの種類や分布を明らかにし、所属校の環境についても知りたいと思い、本研究をはじめた。

【方法】

校舎周辺や裏山を調査し、分類、標本を作成した。調査では、コケの生育基物や状態、群落の大きさなどを記録した。鏡下での観察も加え、図鑑をもとに分類した。分類の最終判断は、専門家に指導を仰いだ。本校と大阪の公園の調査結果を比較し、環境の違いをコケの種類から探った。

【結果】

1年半の調査によって、蘚苔類58種（蘚類43種、苔類15種）を確認した。本校の蘚・苔類の割合を、大阪の公園の調査結果と比較したところ、本校では樹木を生育基物とする苔類の割合が多かった。また、大阪の公園にはない大気汚染に弱い種や、山地に多く分布するコケが8種確認された。

【まとめ】

本校と大阪の公園の調査結果を比較したところ、本校の方が樹木が豊富で山地に近い環境であることが、コケの種類からも示された。大気汚染に弱いコバノイトゴケが確認されたことから、大気汚染の影響も小さいと推察された。これは、本校が平城山丘陵に位置し、緑豊かな裏山が存在することと一致する。

【展望】

今後はさらに標本数を増やし、本校のコケの分布を明らかにしていきたいと思う。また、他の地域のコケの分布と比較することで、本校の環境について知るための一つの指標となるものにしていきたい。

